

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 上津役 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和元年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

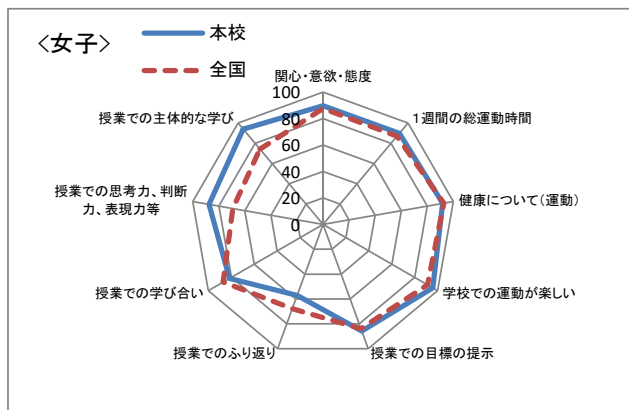
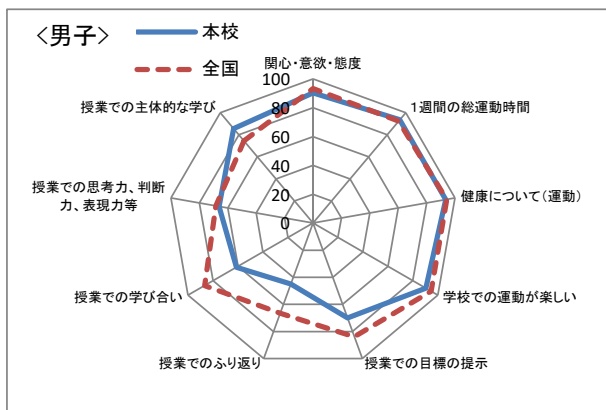
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
本市	16.56	20.49	33.51	42.17	52.49	9.39	153.34	22.91	54.52
本校全国平均以上の種目		○			○			○	

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59
本市	16.49	19.55	38.14	40.49	42.02	9.64	147.47	13.79	56.34
本校全国平均以上の種目		○		○	○		○	○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

体育科の学習や運動等に対して肯定的に捉えている児童が多い。特に「授業での主体的な学び」に関しては、男女ともに全国平均値を上回っており、意欲的に運動等に取り組む児童の様子がうかがえる。しかし、授業における「めあて・まとめ・振り返りの有無」や「授業での学び合い」といった項目は、全国平均値を下回っており、体育科の授業においても、他の教科の学習と同様に「めあて・まとめ」を示したり、次時の学習への見通しを持たせるような授業づくりが求められる。また、より効果的なペアや少人数グループによる教え合い・学び合いを学習活動に取り入れることも必要であると考えられる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 児童の安心感と安全を第一にするとともに、個々の運動量及び運動時間を確保する。
- 体育科の学習においても、児童の実態に応じてペアや少人数グループによる活動も取り入れる。
- 準備運動時に、ジャンプアップ運動等に取り組む。 ○継続して縄跳びや持久走に取り組む。
- 個人思考やペア・グループでの話し合い活動を充実させ、児童同士の「学び合い・教え合い」を活性化させる。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- 縄跳びや持久走等に継続して取り組むとともに、縄跳びや持久走の取組をカードに記録し、児童の取組の成果を見える化する。
- 休み時間に屋外で遊ぶように声掛けを継続して行うとともに、安心して安全に過ごせるように運動場の整備も行う。